

ブラウザ通知機能を悪用した手口に注意！

インターネットブラウザの通知機能を悪用して偽の通知を表示させ、不審なサイトに誘導する手口の犯罪が確認されています。

手口の流れ

ステップ1 (偽ブラウザ通知で騙す)

許可をクリックしてしまうと…

偽通知の画像は、ほかにこんな表示や

ロボットでない場合は、「許可」をクリックします

「許可」をクリックして、ロボットではないことを確認してください！

I am not a robot
Click Allow to confirm you are not a robot

ステップ2 (偽警告アラート通知で騙す)

偽警告アラートは、ほかにこんな表示や

ボタンをクリックしてしまうと…

クリックしちゃ絶対ダメ！

ブラウザの通知を許可するよう誘導される

検索サイトで表示されたサイトにアクセスすると、ブラウザ通知の許可ボタンを表示し、訪れた人に「許可」を押させようとする。

偽の警告アラート等の通知が表示される
画面右下に「McAfee」「Windows」などの企業ロゴを無断使用して、「ウイルスに感染している可能性がある」などの警告アラートの通知画面が表示され、ボタンをクリックさせようとする。

ステップ3 (偽サイトで騙す)

偽サイトの事例 その1
セキュリティソフト購入サイト
ID、パスワード等の個人情報や電子マネーの番号等の入力求められる、フィッシング被害やマルウェアなどの不審なプログラムをインストールさせられます。また、電話番号を表示して、直接、電話をかけるよう誘導する場合もあります。

偽サイトの事例 その2
当選サイト
クレジットカード番号の入力画面などに進み、番号を盗み取られ、身に覚えのない高額商品の購入や課金登録などの契約をされています。



Point
ブラウザに登録した通知許可を削除することで、不審な通知表示を止めることができます。使用するブラウザで削除方法が異なります。詳しくは、下記のIPAのホームページをご確認ください。

☆被害に遭わないための対策☆

ステップ1

安易に通知の許可をしない
ブラウザの通知の「許可」を安易に押さない。

ステップ2

表示された通知表示に注意する
警告アラートなどを鵜呑みにせず、不審サイトの通知ではないか登録の確認を行う。

ステップ3

誘導されたサイトで操作しない
誘導されたサイトで、
・アカウント情報、クレジットカード情報などの個人情報を入力しない。
・ソフトをインストールしない。
・表示された電話番号に電話しない。

引用元：IPA <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20210309.html>

最新セキュリティ情報はこちらから

2021年3月18日 発行

鳥取県警察本部
総合相談電話 ☎ #9110
サイバー犯罪対策課 警部補 福井 貴
☎ 0857-23-0110 (内線 3424)
URL <https://www.pref.tottori.lg.jp/police/>



鳥取県警察 サイバー犯罪対策課
マスコットキャラクター

